

新しい年を迎えました。一段と寒さが厳しい時季ですが、しっかり食べて、よく体を動かし、そして、夜は早めに休み(就寝)しましょう。
今年も安全でおいしい給食を作っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

1月24日からの1週間は『全国学校給食週間』です。

学校給食は、「学校給食法」に基づいて実施しています。そして、その条文には学校給食の目標として、7つのことの育成や理解が掲げられています。

●健やかな体を育む



適切な栄養摂取で、子供たちの健康の増進を図る。

●食生活の手本になる



健全な食生活を営んでいくための判断力と望ましい食習慣を養う。

●力を合わせ、

学校生活を心豊かに



お互いを思いやって助け合う心や、明るい社交性を養い、学校生活を豊かにする。

●自然と命の恵みへの感謝



生命や自然を尊重し、進んで環境を守る態度を養う。

●支え合いで

成り立つ食生活



食生活がさまざまな人の力に支えられていることへの理解を深める。

●伝統的な食文化



日本の各地域に伝わる料理や行事食への理解を深める。

●生産・流通・消費



食料の生産・流通・消費等について、正しい理解に導く。

「全国学校給食週間」とは

学校給食は、明治22年に始まって以来、全国各地へと広まってきましたが、戦争の影響で中断しました。太平洋戦争後、昭和21年6月に米国のLARA(アジア救済団体)から給食物資の寄贈を受けて昭和21年12月24日から学校給食が再開され、この日を「給食記念日」としました。現在は12月24日が冬休みに入るため、1か月後の1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」としています。

全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割について、児童生徒や保護者、地域住民等の理解を深め、関心を高めることを目的として、全国で学校給食に関連する様々な行事が行われています。

蒲刈学校給食調理場では、「全国学校給食週間」の期間中、「ひろしま給食」をはじめ、広島県内や呉市内、そして、とびしま内でもれたり、製造したりしている食材を用いた料理や、広島県や呉市の郷土料理、そして、世界の料理などを献立にとり入れて、学校給食への理解を深め、関心を高めるようにしています。

